

事業整理シート

事業名	発達障害児支援事業	整理番号	4102-010			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2007年度 (平成19年度)	～			根拠法令・要綱等	発達障害者支援法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-2	施策名:	豊かな感性を育む教育の充実		
	関連施策:	2-1-5	施策名:	発達障害児(者)の支援体制の充実		
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	通常の学級に在籍する、発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の学習等を、計画的に支援することを目的として支援員を配置し、特別支援教育の充実を図る。
対象	小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒
手段	通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒の合計が概ね10人以上の学校を対象に、学校の実情に応じて支援員を配置し、個別の支援を行う。
成果	通常の学級に在籍する発達障害のある児童・生徒に、支援員が寄り添い個別支援することで、当該児童・生徒の適正な発達をうながすとともに、その学級の他の児童・生徒への授業も落ち着いて行うことができる。
事業の背景・住民意見の反映	御殿場市では、発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒が、毎年度の調査で約9%程度在籍しており、状況によっては担任が発達障害のある児童・生徒にかかりきりになることもある。支援員が配置されることで、安定した学習活動を展開することができる。
PDCAサイクルの実施状況	通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の割合は、全国平均と比較しても低くない状況が続いている。そのため今後も支援員を適切に配置し、当該児童・生徒に対する個別の支援をしていく必要がある。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の合計が10人以上の学校に支援員を派遣する。	通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の合計が10人以上の学校に支援員を派遣する。	通常の学級に在籍する発達障害あるいはその疑いのある児童・生徒の合計が10人以上の学校に支援員を派遣する。		
事業費	34,000	34,000	34,000		102,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付				0
	その他				0
一般	34,000	34,000	34,000		102,000

事業整理シート

事業名	特別支援教育推進事業	整理番号	4102-020			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2004年度 (平成16年度)	～			根拠法令・要綱等 静岡県における今後の特別支援教育の在り方(最終報告)
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-2	施策名:	豊かな感性を育む教育の充実	
	関連施策:	2-1-5	施策名:	発達障害児(者)の支援体制の充実	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	通常の学級に在籍している、LD、ADHD、高機能自閉症等(疑いも含む)の児童・生徒を早期に発見し、支援を図る。
対象	小・中学校の児童・生徒
手段	各小・中学校の要請により特別支援教育巡回指導員を派遣し、各校の特別支援教育コーディネーターと連携して実態の把握と指導助言を行う。また、専門家チーム(特別支援教育有識者・心理学専門家等)の会議において、特別支援教育巡回指導員の情報をもとに、望ましい支援方法・支援体制等について指導助言を行う。
成果	指導の場において障害についての専門的な知識を有する職員が、専門家チームの助言をもとに訪問して指導を行うことにより、個々の障害に応じた教育的ニーズに適切にこたえることができる。また、児童・生徒の状態によっては、学習場面に加えて、学校生活全般においても学校体制で継続的な支援が可能となる。
事業の背景・住民意見の反映	通常の学級で特別な教育的支援が必要な児童・生徒は、毎年度の調査で約9%程度在籍しているが、担任が特別な支援を必要とする児童・生徒にかかりきりになる場合もある。専門家からの指導・助言により組織的な指導が行われ、必要に応じて他の教職員の支援を得ながら学習活動等の展開が可能となる。
PDCAサイクルの実施状況	平成19年度より年8回の専門家チーム会議を実施し、平成25年度より1校あたり4時間の巡回と1校につき7時間程度学校訪問をし、児童・生徒の1日の様子を見て相談支援できるよう変更。平成27年度からは、学校の要望としてより専門的な助言を求められているため、特別支援教育巡回指導員を雇用し、教育的ニーズに適切にこたえている。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計	
事業内容	専門家チームに特別支援教育巡回指導員や臨床心理士等を配置し、年4回の支援会議を開催。特別支援教育巡回指導員を1人雇用し、小・中学校の要請により派遣し、支援会議にも出席する。	専門家チームに特別支援教育巡回指導員や臨床心理士等を配置し、年4回の支援会議を開催。特別支援教育巡回指導員を1人雇用し、小・中学校の要請により派遣し、支援会議にも出席する。	専門家チームに特別支援教育巡回指導員や臨床心理士等を配置し、年4回の支援会議を開催。特別支援教育巡回指導員を1人雇用し、小・中学校の要請により派遣し、支援会議にも出席する。		/
事業費	1,000	1,000	1,000	3,000	
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	1,000	1,000	1,000	3,000	

事業整理シート

事業名	外国人英語指導者配置事業	整理番号	4103-010			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	1992年度 (平成4年度)	～			根拠法令・要綱等 発達障害者支援法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-3		施策名:	確かな知性を育む教育の充実
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	ネイティブ・スピーカーとの交流を通して、正しい英語の発音や異なる文化等を体験的に理解するため、外国人英語指導者との外国語(英語)活動を行うことにより、コミュニケーション能力の向上及び英語能力の向上を図るとともに、異文化理解を深める。
対象	小・中学校の児童・生徒
手段	各小・中学校へ外国人英語指導者を配置し、教員と連携して外国語活動(英語)の授業を行う。外国人英語指導者の授業時間は、1日あたり4～5時間を目安。小学校は、3・4年生は1学級あたり年間15時間程度、5・6年生は1学級あたり年間50時間程度、中学校は、1学級あたり週1回程度は配置。併せて、学校生活全般において、外国人英語指導者が児童・生徒と関われる環境作りをする。
成果	小学生:外国人から英語を学ぶことで、英語の音声やリズムに慣れ親しむとともに、コミュニケーションを図る楽しさを体験し、外国の文化を直接体験できる。中学生:ネイティブな英語に接することで英語を話す力や、聞く力が向上する。また、異文化を理解することができる。

事業の背景・住民意見の反映	小学校では「小学校3、4年生の外国語活動」「小学校5、6年生の外国語教科化」が打ち出され、2020年度に全面実施される見通しとなっている。小学校5、6年生は週2時間、小学校3、4年生は週1時間を想定していることから、指導体制強化のため、外国人英語指導者(ALT)の確保や教材の充実が必要となる。
---------------	---

PDCAサイクルの実施状況	平成19年度より指導者数を1人増やし、9人体制で対応している。平成30年度より小学校3、4年生の外国語活動が実施されている。
---------------	--

●事業計画 (単位:千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度		計
事業内容	外国人英語指導者10人を委託。教員と連携して小学校では外国語活動を中学校では英語の授業を行う。夏季休業中は研修会を指導。	外国人英語指導者12人を委託。教員と連携して小学校では外国語活動を中学校では英語の授業を行う。夏季休業中は研修会を指導。	外国人英語指導者12人を委託。教員と連携して小学校では外国語活動を中学校では英語の授業を行う。夏季休業中は研修会を指導。	/	
事業費	50,000	65,000	65,000		180,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	25,600	34,900	34,900	95,400
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	24,400	30,100	30,100		84,600

事業名	青少年のための科学の祭典事業	整理番号	4103-030			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2006年度 (平成18年度)	～	根拠法令・要綱等	文部科学省と厚生労働省の放課後対策関連事業		
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-3	施策名:	確かな知性を育む教育の充実		
	関連施策:	4-1-12	施策名:	青少年の健全育成		
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	実験や観察、工作等の科学的体験を通じて、科学の面白さや不思議さを実感させることにより、青少年の科学に対する知的好奇心を高め、豊かな発想や創造性の育成を図る。
対象	青少年
手段	科学、技術、工学などをテーマにした30前後のブースを設置し、縁日の屋台のように子どもから大人まで一緒になって楽しめる実験や工作を展開する。事業は実行委員会を組織し、交付金により実施する。
成果	青少年の科学に対する知的好奇心を高め、豊かな発想や創造性の育成を図ることができる。
事業の背景・住民意見の反映	科学に対する関心が薄くなっている背景があり、科学の祭典を実施したところ、毎回多くの観覧者を集めている。第1回は(財)日本科学技術振興財団・科学技術館の主催により実施した。第2回からは、規模を縮小し実施し、出展者の負担軽減のため、平成22年度から隔年開催、平成25年度からは1日のみの開催としているが市民の人気が高く、継続開催を望む意見が多い。
PDCAサイクルの実施状況	市の交付金と協賛金等の限られた予算の中で実施している。東部地区には、科学館等の体験施設がないため青少年にとって貴重なイベントと認識しており、また多くの来場者を集めているため今後も開催方法等を見直しながら継続実施したい。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	「青少年のための科学の祭典 富士山大会 in ごてんば」交付金			「青少年のための科学の祭典 富士山大会 in ごてんば」交付金	
事業費		2,000		2,000	4,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付				0
	その他	800		800	1,600
	一般	1,200		1,200	2,400

事業整理シート

事業名	魅力ある学びづくり推進事業	整理番号	4106-010			
所管	教育部 学校教育課	予算款項目	一般会計	10	1	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～			根拠法令・要綱等
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-6		施策名:	開かれた学校・魅力ある学校づくりの推進
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	新学習指導要領の実施や、生徒指導をはじめとする複雑化・多様化している学校の諸課題への対応等で、多忙化に拍車のかかっている教職員が、児童・生徒一人ひとりと向き合う時間を確保することを目的として、小・中学校に学年事務支援員を配置することにより、魅力ある学びづくりの推進を図る。
対象	小・中学校のうち、大規模校を基本とする。
手段	小・中学校に学年事務支援員を配置し、①学年・学級会計、教材の発注等の事務処理、②各種調査のとりまとめ、③外部機関との交渉・手続き、④お便り等の校正及び印刷・配布、⑤学年行事等に関する諸事務等を担う。
成果	小・中学校の教職員が、児童・生徒一人ひとりと向き合う時間を確保できることで児童生徒への理解が深まり、個に応じた学習支援等が充実して、きめ細かな指導が展開できる。また、教職員が授業づくり等の研鑽の時間が確保でき、魅力ある学校づくりにつながる。

事業の背景・住民意見の反映	小・中学校の教職員は、新学習指導要領の実施により授業時数が増加する中で、保護者等からの相談等にも真摯に対応し、環境や食育・防災等、新たな教育への研修や指導にも全力で取り組んでいる。しかし、教職員の多忙化は各学校の改善努力をはるかに上回る勢いで進んでおり、児童・生徒や保護者は、教職員が児童・生徒一人ひとりと向き合う時間が増えることを切に願っている。
---------------	--

PDCAサイクルの実施状況	配置された学年事務支援員については、常時業務内容について精査を行い、小中学校の教職員の負担を効率的に軽減できるよう対応している。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費		
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	小・中学校のうち、大規模校を基本として、学年事務支援員を1人ずつ配置する。(5人)	小・中学校のうち、大規模校を基本として、学年事務支援員を1人ずつ配置する。(5人)	小・中学校のうち、大規模校を基本として、学年事務支援員を1人ずつ配置する。(5人)	/
事業費	10,000	10,000	10,000	30,000
財源内訳	国補			0
	防衛			0
	県補			0
	市債			0
	財繰			0
	負担			0
	小山			0
	寄付			0
	その他			0
一般	10,000	10,000	10,000	30,000

事業整理シート

事業名	西中学校校舎改築事業	整理番号	4108-020			
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10	3	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2016年度 (平成28年度)	～	2021年度	根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-8		施策名:	学校などの教育施設・設備の充実
	関連施策:	7-5-5		施策名:	効果的な資産の活用
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	老朽化した校舎の改築を行い、安全性の確保とより良い環境整備を図る
対象	西中学校 生徒・教職員
手段	校舎改築と周辺環境整備を実施する 管理・普通教室棟 RC3階建て 延床面積4,330㎡程度
成果	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる
事業の背景・住民意見の反映	管理・普通教室棟は経年による老朽化がみられ、機能面、安全面、衛生面に支障をきたしている。また、これまでの増改築により動線が長く使い勝手の悪い配置となっており、校舎配置を総合的に見直す必要がある。学校関係者や地域住民など施設利用者からも早期改築を望まれている。
PDCAサイクルの実施状況	敷地内の空地を活用し新たな校舎建設後に現校舎を解体することにより、工期の短縮化や仮設経費などの縮減を図っている。

●事業計画 (単位：千円)

			総事業費	1,994,000	
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計	
事業内容	校舎改築工事 工事監理	既存校舎解体工事 周辺施設整備工事 解体工事監理	周辺施設整備工事	/	
事業費	963,000	152,000	103,000	1,218,000	
財源内訳	国補	47,674		47,674	
	防衛			0	
	県補			0	
	市債	66,300		66,300	
	財繰	823,793	136,800	92,700	1,053,293
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	25,233	15,200	10,300	50,733	

事業整理シート

事業名	小学校環境整備事業	整理番号	4108-040			
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10	2	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～			根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-8	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実		
	関連施策:	7-5-5	施策名:	効果的な資産の活用		
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	小学校施設の不具合の改善を行い、児童の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。
対象	小学校児童・教職員
手段	校舎(教室等)・屋内運動場の増改築、改修、グラウンド整備等を実施する。
成果	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。
事業の背景・住民意見の反映	教育施設の老朽化により、機能性、安全性、衛生面において支障を来しており、児童・教職員が安心して教育活動が展開できる施設整備が望まれている。 朝日小学校校舎(昭和58年建設)、御殿場小学校1号棟(昭和53年建設)
PDCAサイクルの実施状況	現地調査を実施する中で、老朽度や緊急度を精査して計画的に実施していくことで、経費の平準化や工期短縮を図っている。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日小学校 校舎改修工事、工事監理 ・玉穂小学校 駐車場整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日小学校 校舎改修工事、工事監理 ・東小学校 体育館照明器具交換修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日小学校 仮設校舎解体 ・御殿場小学校 校舎改修実施設計 		
事業費	548,000	725,000	24,000	1,297,000	
財源内訳	国補	58,447	87,671		146,118
	防衛				0
	県補				0
	市債	179,000	288,800	11,700	479,500
	財繰	190,593	201,793	7,838	400,224
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	119,960	146,736	4,462	271,158	

事業整理シート

事業名	小学校プール改築事業	整理番号	4108-050			
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10	2	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～	2022年度	根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-8	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実	
	関連施策:	7-5-5	施策名:	効果的な資産の活用	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	小学校の老朽化したプールの改築を行い、児童の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。
対象	小学校児童・教職員
手段	老朽化しているプールの改築を順次実施する。 富士岡小学校(2020年-2021年)、神山小学校(2022年-2023年)
成果	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。
事業の背景・住民意見の反映	小学校プールについては、老朽化が進み不具合箇所も多く見られ、年々維持管理に要する経費もかさんでおり、早期の改築が望まれている。 富士岡小プール(昭和44年建設)、神山小プール(昭和56年建設)
PDCAサイクルの実施状況	現地調査を実施する中で、老朽度や緊急度を精査して計画的に実施していくことで、経費の平準化や工期短縮を図っている。

●事業計画 (単位：千円)

			総事業費	1,806,380
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容		・富士岡小プール 既設解体工事 改築工事、工事監理	・富士岡小プール 改築工事、工事監理、 外構工事 ・神山小プール 基本・実施設計	/
事業費		142,000	222,000	364,000
財源内訳	国補	9,313	13,970	23,283
	防衛			0
	県補			0
	市債	96,500	121,400	217,900
	財繰			0
	負担			0
	小山			0
	寄付			0
その他				0
一般		36,187	86,630	122,817

事業整理シート

事業名	中学校環境整備事業	整理番号	4108-060			
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10	3	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～			根拠法令・要綱等	義務教育諸学校施設費国庫負担法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-8	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実		
	関連施策:	7-5-5	施策名:	効果的な資産の活用		
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	中学校施設の不具合の改善を行い、生徒の安全性の確保及びより良い環境の整備を図る。
対象	中学校生徒・教職員
手段	校舎(教室等)・屋内運動場の増改築、改修、グラウンド整備等を実施する。
成果	機能的で快適な教育環境と安全性の確保が図られる。
事業の背景・住民意見の反映	教育施設の老朽化により、機能的、安全性、衛生面において支障を来しており、生徒・教職員が安心して教育活動が展開できる施設整備が望まれている。 南中学校校舎(昭和52、53年 建設)、富士岡中学校校舎(昭和60年 建設) 御殿場中学校校舎(昭和56、62年 建設)
PDCAサイクルの実施状況	現地調査を実施する中で、老朽度や緊急度を精査して計画的に実施していくことで、経費の平準化や工期短縮を図っている。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・富士岡中学校 校舎借り上げ 便所改修工事、工事監理 ・南中学校 校舎改修工事、工事監理 屋外便所実施設計 ・原里中学校 敷地拡張整備工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士岡中学校 校舎借り上げ ・南中学校 校舎改修工事、工事監理 屋外便所改築工事、工事監理 	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿場中学校 体育館照明器具交換修繕 ・富士岡中学校 仮設校舎解体工事、跡地整備工事 校舎改修実施設計 ・南中学校 仮設校舎解体、グラウンド整備設計 	/
	事業費	678,000	621,000	105,000	1,404,000
財源内訳	国補	51,907	58,682		110,589
	防衛				0
	県補				0
	市債	195,800	251,300	28,500	475,600
	財繰	293,063	198,110	19,201	510,374
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	137,230	112,908	57,299	307,437	

事業整理シート

事業名	教育ICT環境整備事業	整理番号	4108-070	
所管	教育部 教育総務課	予算款項目	一般会計	10-2-2 10-3-2

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2019年度 (平成31年度)	～	2025年度	根拠法令・要綱等
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-8	施策名:	学校などの教育施設・設備の充実
	関連施策:		施策名:	
個別計画での位置づけ	御殿場市教育情報化推進基本計画			

●事業の内容

目的	リースアウトとなった中学校6校の教育用コンピュータ外の機器の更新並びに児童・生徒の興味、関心を引き出す魅力ある授業を実現するため
対象	市内全中学校(教育用コンピュータ)、市内全小・中学校(大型提示装置 外)
手段	現在使用中の教育用コンピュータ外の機器を更新する。また、授業のサポートツールとして、小学校、中学校の全普通教室に大型提示装置、無線LAN等を整備する。
成果	児童生徒の理解力向上が期待できる。また視覚に訴える多彩で効果的な授業を行うことができる。教員の教材製作の準備期間の軽減が図られる。

事業の背景・住民意見の反映	教育分野における情報通信技術の更なる活用に向けて、御殿場市教育情報化推進基本計画及び策定予定の実施計画並びに国の第3期教育振興基本計画(H30.6.15閣議決定)で定められた目標及び基準を達成する必要がある。
---------------	--

PDCAサイクルの実施状況	リースアウトした教育用コンピュータの更新と大型提示装置全普通教室に1台整備、平成30年6月15日に閣議決定されたICT機器の整備目標・水準をクリアするためには、多額の予算を必要とすることから「御殿場市教育情報化推進実施計画」を策定するとともに地域の協力が不可欠である。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	教育用コンピュータ(PC教室用35台×6校、ノートPC9台×6校、周辺機器、校務支援、ネットワーク、ソフト 外)、大型提示装置等(小学校:更新5台、中学校:追加62台、更新26台)	教育用コンピュータ(PC教室用35台×7校+26台、ノートPC9台×7校+7台、周辺機器、校務支援、ネットワーク、ソフト 外)、大型提示装置等(小学校:追加34台)	大型提示装置等(小学校:追加57台、更新53台、中学校:追加8台)		
事業費	11,000	85,000	165,000	261,000	
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	4,518	34,403	68,195	107,116
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
その他				0	
一般	6,482	50,597	96,805	153,884	

事業整理シート

事業名	学校給食センター施設改修事業	整理番号	4109-010			
所管	教育部 学校給食課	予算款項目	一般会計	10	6	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～			根拠法令・要綱等	学校給食法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-1-9	施策名:	学校給食の充実		
	関連施策:	7-5-5	施策名:	効果的な資産の活用		
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	西学校給食センター(H2.9)及び高根学校給食センター(H7.4)が稼働後20年以上経過し、施設や厨房等の劣化による修繕及び備品交換が増えてきており、より安心安全な給食提供やアレルギー給食の対応、災害対策等の衛生基準(HACCP)に準拠するため改修等工事を計画的に施工するもの。
対象	西・高根学校給食センター管内の児童生徒
手段	整備計画に基づき、広く庁内外の意見を反映した基本計画と実施設計を策定し、整備事業を実施する。
成果	安心・安全な学校給食を安定的に提供できると共に、災害対策機能の充実を図れる。
事業の背景・住民意見の反映	施設・厨房設備の改修等により、作業効率や安全性が向上し、安定的に提供出来ることにより、学校給食への信頼を高めることにつながる。
PDCAサイクルの実施状況	平成27年度西・高根学校給食センター整備計画書を策定し、平成28・29年度でPFI等の民間手法を含め建設・運営方式を庁内検討委員会で決定した。平成30年度は、アレルギー給食や災害時対応等の検討を進める。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	可能性調査の方針決定 高根給食センター施設整備		基本計画策定(基本設計)	基本計画策定(実施設計)	/
事業費		52,000	30,000	100,000	182,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	43,000			43,000
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般		9,000	30,000	100,000	139,000

事業整理シート

事業名	子ども読書活動推進事業	整理番号	4204-010			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2003年度 (平成15年度)	～		根拠法令・要綱等	子どもの読書活動に関する法律
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-2-4	施策名:	図書館機能の充実	
	関連施策:	4-1-2	施策名:	豊かな感性を育む教育の充実	
個別計画での位置づけ	御殿場市子ども読書活動推進計画(H19～H27)、第2次御殿場市子ども読書活動推進計画(H28～H38)				

●事業の内容

目的	家庭・地域・学校並びに庁内他部署と図書館が連携し、子どもの発達段階に応じた全市的な子ども読書活動を推進する。
対象	市民
手段	6か月児を対象に、ブックスタート事業を実施し、絵本との出会いを深め、家庭での読み聞かせの普及・啓発を行っている。読み聞かせや学校図書館に係るボランティアの養成講座を開催。団体貸出用の児童図書を購入し、幼稚園や保育園、学校への貸出を推進。図書館まつりの開催や各種講演会・講習会開催等、読書推進のための啓発事業を実施。
成果	子ども達が絵本の読み聞かせを通して、児童図書に親しむことにより、心豊かな人間形成に寄与するとともに、読書習慣が育まれる。
事業の背景・住民意見の反映	子どもの読書離れ対策として国は、平成13年に子ども読書活動の推進に関する法律を施行した。これを受けて、静岡県は平成16年に子ども読書活動推進計画を策定。これに伴い、当市でも平成18年度に「子ども読書活動推進計画」を策定し、これにより事業を実施してきた。平成27年度計画期間終了に伴い、これまでの事業評価と見直しを行い、平成28年度市子ども読書推進会議に諮り、パブリックコメントの募集を行うとともに、計画の更新を行った。
PDCAサイクルの実施状況	平成16年度からブックスタート事業を実施、家庭読書の日、読書月間の周知PR、図書館まつりの開催等、啓発活動を実施している。毎年、子ども読書会議において、子ども読書活動推進計画の目標の検証・評価・見直しを行っており、関係各課や関係機関の事業見直しや改善・推進のために活かしている。

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度		計
事業内容	①ブックスタート用絵本購入費②子ども読書普及活動や図書館まつり等、啓発事業実施のための経費	①ブックスタート用絵本購入費②子ども読書普及活動や図書館まつり等、啓発事業実施のための経費	①ブックスタート用絵本購入費②子ども読書普及活動や図書館まつり等、啓発事業実施のための経費		/
事業費	1,000	1,000	1,000		3,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山寄付				0
	その他				0
	一般	1,000	1,000	1,000	

事業整理シート

事業名	図書館図書整備事業	整理番号	4204-020			
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10	5	3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	1971年度(昭和46年度)	～		根拠法令・要綱等	図書館法、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-2-4	施策名:	図書館機能の充実	
	関連施策:	4-2-1	施策名:	学習機会の提供、学習成果の発信	
個別計画での位置づけ	御殿場市子ども読書活動推進計画(H19～H27)、第2次御殿場市子ども読書活動推進計画(H28～H38)				

●事業の内容

目的	市民の教養や調査研究及び文化活動に資するため図書資料を整備する。
対象	市民及び周辺自治体住民
手段	図書資料を選定し、図書館利用に供する。内容は、一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等。
成果	利用者の情報源としての図書資料を整備・充実し、利活用することにより、市民を含む利用者は、仕事あるいは研究や趣味等に役立つ様々な資料や情報を得ることができる。結果として、市民生活を豊かにし、教養や知的レベルの向上に貢献することができる。
事業の背景・住民意見の反映	市民の多様な知識欲求(ニーズ)や学習意欲に応じた蔵書を提供したり、子どもを育む図書整備を図ったり、地域の歴史・文化資料の継承を図るなど、現代的課題に対応した図書館整備が望まれている。また、リクエスト制度により、利用者のニーズに応える図書整備を行っている。更に、利用者アンケートによって、様々なニーズの具体的な把握に努めている。
PDCAサイクルの実施状況	図書整備については、ポピュラーで利用率の高いものは手厚く、また全体として、幅広い分野をカバーできるよう配慮して選書・図書購入を行っている。当図書館で所蔵していない本や手配できない本の貸出については、県内公立図書館の相互貸借制度を活用することで利用者ニーズに的確に応えたと共に、貸出の効率化と費用節減に努めている。購入図書を選定についても、利用者の要望を勘案しながら複数の図書館員による検討を経て決定している。

●事業計画(単位:千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計	
事業内容	一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入	一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入	一般図書、児童図書、参考図書、郷土資料、外国語図書、視聴覚資料等の購入		
事業費	10,000	10,000	10,000	30,000	
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰	4,750	4,750	4,750	14,250
	負担				0
	小山寄付	300	300	300	900
	その他				0
一般	4,950	4,950	4,950	14,850	

事業整理シート

事業名	図書館等整備・(仮称)富士山市民のサロン整備事業	整理番号	4204-030	
所管	教育部 社会教育課	予算款項目	一般会計	10-5-1 10-5-3

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2014年度 (平成26年度)	～	2023年度	根拠法令・要綱等	図書館法、図書館の設置及び運営上の望ましい基準、建築物の耐震改修の促進に関する法律、博物館法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-2-4	施策名:	図書館機能の充実	
	関連施策:	4-5-4	施策名:	郷土資料館の整備	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	図書館機能の充実のため、図書館の再整備に併せ、郷土資料館を整備し市が保管する民俗資料や歴史史料の保存・活用を図る。また、駅周辺に図書機能を持ったサービスポイントとして、市民が集うサロン整備を図っていく。
対象	市民
手段	図書館と郷土資料館等公共施設との一体整備を検討するため、庁内や外部の有識者による委員会を組織し、基本構想をまとめ、その後基本計画を策定していく。また、駅周辺に民間が整備する建物の1フロアを賃借し、図書機能を持つ複合施設を整備する。
成果	複合化並びに施設間の連携を図ることで、施設の効率的な運用と機能向上が期待できる。図書館利用者はより安全・快適に利用できるとともに、郷土の歴史・文化を学習する場ができる。また、利便性の高い地区での図書サービスを提供することで、駅周辺の活性化、地域の交流の活発化も図られる。

事業の背景・住民意見の反映	昭和56年開館の図書館は老朽化が著しく、耐震性能が十分でないうえ、蔵書の保管スペースも飽和状態となっている。民俗資料収蔵庫も同様であり、史資料の保管場所も飽和状態にある。また、資料館の建設要望は以前から根強く寄せられており、駅周辺で市民が集う施設がないとの声もある。
---------------	---

PDCAサイクルの実施状況	多様な市民ニーズを踏まえながら、図書館機能を総合的に検討し、施設整備を図る。基本構想・基本計画の策定は、市内・外の委員による協議を重ね、必要な条件や要素を明確にし、効果的、効率的な事業実施につなげていく。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計	
事業内容	図書館等基本構想策定 駅前交流施設事業整備費	図書館等基本構想策定 駅前交流施設事業運営費	駅前交流施設事業運営費		
事業費	17,000	53,000	40,000	110,000	
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財線				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	17,000	53,000	40,000	110,000	

事業整理シート

事業名	地区集会施設整備事業	整理番号	4205-010			
所管	市民部 市民協働課	予算款項目	一般会計	2	1	12

●事業の種類と位置づけ

事業期間	1996年度 (平成8年度)	～	2019年度 (平成31年度)	根拠法令・要綱等	御殿場市地区集会施設整備事業補助金交付要綱
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-2-5		施策名:	自治会等の自主的な活動の支援と地区集会施設の整備
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	地域活動の活動拠点の確保・整備を進め、区の自治振興の推進を図る。
対象	地区集会施設、利用者
手段	新築、増改築、改修、修繕、耐震対策、バリアフリー化等に対し、地区集会施設整備事業補助金交付要綱により補助金を交付する。
成果	地域活動の拠点整備により、自治活動の活性化と区内コミュニケーションが円滑に行われる。

事業の背景・住民意見の反映	施設の老朽化や利用形態の変化等により、改修や建て替えに対する地元の機運が高い。
---------------	---

PDCAサイクルの実施状況	平成17年に地区集会施設整備事業補助金交付要綱を見直し、耐震対策、バリアフリー化等に努めてきた結果、耐震性の劣る施設の改修はほぼ終了しつつある。今後も計画的に実施していく。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計	
事業内容	解体: 栢ノ木地区コミュニティ供用施設、風穴区公民館、神場区公民館 改修: 湯沢区公民館 その他改修事業			/	
事業費	69,000			69,000	
財源内訳	国補			0	
	防衛			0	
	県補			0	
	市債			0	
	財繰	35,000			35,000
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				0
一般	34,000			34,000	

事業整理シート

事業名	オリンピック・パラリンピック推進事業	整理番号	4402-010			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2016年度 (平成28年度)	～	2021年度	根拠法令・要綱等	平成三十二年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会特別措置法
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-4-2	施策名:	競技スポーツの振興	
	関連施策:	4-6-2	施策名:	国際姉妹都市及びアジア近隣諸国との交流の推進	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて、大会成功のための運営支援を行うとともに、大会気運醸成の取組みやホストタウンを中心とした参加国・地域との人的、経済的、文化的な相互交流などを通じ、地域活性化の推進とレガシーの創出を目指す。
対象	市民、民間企業、各種団体
手段	大会運営支援として、ボランティアの募集や駅・沿道等の混雑対策等を行う。大会気運醸成として、大会参画プログラムの実施、ホストタウンや招致国の事前合宿誘致及び交流事業、自転車競技に関する啓発や観戦スポットの創出等を地域一体で進める。
成果	多くの市民や事業所、各種団体が幅広い交流や様々な取組みへ参画することで、市域の人材育成が図られ、またスポーツ振興や観光振興が推進され、地域活力が向上する。

事業の背景・住民意見の反映	平成28年3月に、地域住民、民間企業、各種団体等で組織する東京オリンピック・パラリンピック等事前合宿誘致準備会において、招致国を決定した。その後、ホストタウン登録を認められたことに伴い、準備会をホストタウン推進協議会に発展し、合宿誘致や様々な交流事業を実施してきた。平成30年7月に、東京2020大会の自転車競技ロードレース会場決定を受け、競技運営支援等を含めた大会全般にわたる事業を展開するため、組織をオリンピック・パラリンピック推進協議会に改編し事業を進める。
---------------	--

PDCAサイクルの実施状況	ホストタウンについて、平成28年6月の第二次登録で台湾を、同年12月の第三次登録で韓国を登録、そして平成30年6月の第八次登録でイタリアを相手国として登録が認められた。東京2020大会の開催会場となったことから、今後大会組織委員会や県、周辺自治体との連携を図りながら競技運営に係る準備を進めていくとともに、大会気運醸成や交流事業なども積極的に実施していく。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

総事業費 82,000

		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	大会運営支援事業 大会気運醸成事業 ホストタウン交流事業		大会運営支援事業 大会気運醸成事業 ホストタウン交流事業	大会レガシー創出事業 ホストタウン交流事業	
	事業費	17,000	25,000	5,000	47,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他	2,000	2,000	2,000	6,000
一般	15,000	23,000	3,000	41,000	

事業整理シート

事業名	南運動場施設改修事業	整理番号	4403-030			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2018年度 (平成30年度)	～	2019年度 (平成31年度)	根拠法令・要綱等		
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-4-3		施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営	
	関連施策:			施策名:		
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	平成15年に野球場建設の要望書が市長に提出された。市では多目的グラウンドの整備を検討しているが、建設には莫大な費用と年月を要するため、既存施設の改修を実施する。
対象	市民
手段	建設からおよそ48年が経過し、不具合が生じているため、既存運動場を改修整備し、競技環境の向上を図る。
成果	野球、ソフトボール、サッカー等のスポーツ人口の増加が図られ、市民の健康づくりにも資することができる。また、施設更新によりスポーツツーリズムの推進につながる。

事業の背景・住民意見の反映	南運動場は、竣工後48年が経過し、設置後、年数が経過しているため土質が悪化し、水はけの改善が急務となっている。また、砂、ほこりや石の露出等により競技者の安全性の確保や競技に支障が出ている。
---------------	--

PDCAサイクルの実施状況	指定管理者において、随時、石の搬出や砂の入れ替え等を実施しているが、利用者安全と通常のグラウンド管理業務の円滑化のため改修工事が求められる。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

総事業費

145,000

		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	グラウンド改修工事 A=13,000㎡				/
事業費		140,000			140,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債	54,000			54,000
	財繰				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他	68,000			68,000
一般	18,000			18,000	

事業整理シート

事業名	東運動場施設改修事業	整理番号	4403-050			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2015年度 (平成27年度)	～			根拠法令・要綱等
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-4-3		施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	東運動場は、整備後50年程度経過し、グラウンド及び施設の老朽化と損傷が進んでおり、安全の確保のための修繕整備に加え、グラウンドの規模拡大が求められている。
対象	市民
手段	グラウンドの水はけが悪く、フェンス等も老朽化しているため、不具合部分を改修整備する。また、既存運動場に新規グラウンドを拡張整備することで、競技環境の向上を図る。
成果	野球等のスポーツ人口の増加が図られ、市民の健康づくりにも資することができる。また、施設が更新、新設されることでスポーツツーリズムの推進が図られる。なお、東運動場は大規模災害時におけるヘリポートとして指定されており、災害時の拠点としての機能強化が図られる。

事業の背景・住民意見の反映	老朽化対応や水はけ改善の要望がある。また、硬式野球(公式戦)のできる球場建設の要望書が平成15年4月に提出され、平成29年6月には新球場早期建設実現への要望書も提出されている。
---------------	--

PDCAサイクルの実施状況	不具合改修と安全確保策について、優先順位と投資効果を検討し、施設の長寿命化に効果のある対策を行う。また、新球場の整備については、既存運動場に新規グラウンドを拡張整備することで、事業費や規模の適正化を図る。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
		2019(平成31)年度	2020年度	2021年度	計
事業内容	球場拡張整備方針策定(庁内検討) 長寿命化及び安全対策		球場拡張整備方針策定 長寿命化及び安全対策	球場拡張整備方針策定 球場拡張整備区域埋蔵文化財試掘調査 長寿命化及び安全対策	
事業費		1,000	1,000	5,000	7,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他				
一般		1,000	1,000	5,000	7,000

事業整理シート

事業名	御殿場市馬術・スポーツセンター施設改修事業	整理番号	4403-060			
所管	産業スポーツ部 スポーツ交流課	予算款項目	一般会計	2	10	1

●事業の種類と位置づけ

事業期間	2012年度 (平成24年度)	～			根拠法令・要綱等
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-4-3		施策名:	スポーツ関連施設の適切な整備と運営
	関連施策:			施策名:	
個別計画での位置づけ					

●事業の内容

目的	平成15年度開設した施設が老朽化し、改修・修繕等が必要となり、安全で良好な施設の利用に供するため、計画的に事業を行っていく。
対象	市民、利用者
手段	施設改修を計画的に順次実施していく。
成果	馬術利用者や各種イベント利用者の誘客拡大につながる。

事業の背景・住民意見の反映	平成15年静岡国体馬術競技会場として整備され、15年目を迎えた。全国規模の大会も多く開催され、馬術競技や様々なイベント等で多くの市民・関係者が来場している。平成28年度にNTC競技別強化拠点施設に再指定されており、次世代を担うジュニア層の育成拠点として、国内の位置づけも高いものとなっている。また、全国高等学校馬術競技大会は、皇族方のご来臨をいただいて挙行されている。平成30年度には福井国体が開催された。
---------------	---

PDCAサイクルの実施状況	馬術競技場のNTC指定は2年ごとに更新される。管理棟、厩舎等は建設当初の仮設のままであり、恒久的施設としての利用を図るには、計画的な改修と大規模修繕を行い長寿命化を図る必要がある。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度		計
事業内容	障害飛越競技システム改修	多目的トイレ設置工事	施設改修		/
事業費	1,000	9,000	5,000		15,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他		1,000		
一般	1,000	8,000	5,000		14,000

事業整理シート

事業名	国際交流派遣受入事業	整理番号	4602-010			
所管	市民部 市民協働課	予算款項目	一般会計	2	1	16

●事業の種類と位置づけ

事業期間		～			根拠法令・要綱等	
基本計画における位置づけ	施策番号:	4-6-2	施策名:	国際姉妹都市及びアジア近隣諸国との交流の推進		
	関連施策:		施策名:			
個別計画での位置づけ						

●事業の内容

目的	国際姉妹都市や友好交流都市の両市民の交流を深め、更なる親善交流の発展を図る。
対象	市民、御殿場市国際交流協会
手段	米国チェンバースバーグ市及びビーバートン市と訪問団の派遣・受入事業を行う(5年ごとの相互訪問)。 韓国論山市との交流事業を実施する。
成果	姉妹都市交流の歴史を振り返り、その意義を再確認し、新たな交流が期待できる。 アジア近隣諸国とは交流人口の増加が期待できる。

事業の背景・住民意見の反映	姉妹都市とは5年ごとの相互訪問交流が定着しており、2020年度はチェンバースバーグ市からの訪問団を受入予定。
---------------	--

PDCAサイクルの実施状況	平成29年10月にビーバートン市を訪問した際、市民レベルでの相互理解と友好をさらに深めていく必要があることを再確認した。今後も、多文化共生と国際交流の推進を図り、市民の国際意識の向上に努めていく。
---------------	--

●事業計画 (単位：千円)

		総事業費			
	2019(平成31)年度	2020年度	2021年度		計
事業内容	姉妹都市提携60周年記念 チェンバースバーグ市訪問 団受入事業準備 アジア近隣諸国との交流	姉妹都市提携60周年記念 チェンバースバーグ市訪問 団受入事業 アジア近隣諸国との交流	アジア近隣諸国との交流		/
事業費	2,000	4,000	1,000		7,000
財源内訳	国補				0
	防衛				0
	県補				0
	市債				0
	財繰				0
	負担				0
	小山				0
	寄付				0
	その他		3,000		3,000
一般	2,000	1,000	1,000		4,000